

平成 27 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 アルテック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 張能徳博
(コード番号：9972 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役執行役員(経理部長)池谷壽繁
(TEL：03-5542-6762)

営業外収益、営業外費用、特別利益、および特別損失の計上、
ならびに平成 26 年 11 月期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 11 月期の連結決算（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）において営業外収益（為替差益）、営業外費用（持分法による投資損失）、特別利益（固定資産売却益）、および特別損失（減損損失）を計上しましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当社が平成 26 年 1 月 10 日に公表いたしました平成 26 年 11 月期（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）の通期業績予想値（連結・個別）と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

平成 26 年 11 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）において為替相場が円安に推移したこと等により 27 百万円の為替差益を計上しておりましたが、その後さらに円安が進み、当第 4 四半期連結会計期間において 109 百万円の為替差益を計上いたしました。

これにより、平成 26 年 11 月期の連結決算（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）における為替差益の累計額は 136 百万円となりました。

これは主として当社グループが保有する外貨建債権債務を平成 26 年 11 月期決算期末時点の為替相場で評価替えしたことにより発生したものであります。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

平成 26 年 11 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）において持分法による投資損失を 17 百万円計上しておりましたが、当第 4 四半期連結会計期間において持分法による投資損失を追加で 86 百万円計上いたしました。

これにより、平成 26 年 11 月期の連結決算（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）における持分法による投資損失の累計額は 103 百万円となりました。

3. 特別利益（固定資産売却益）の計上について

平成26年11月期第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日～平成26年8月31日）において固定資産売却益を38百万円計上していましたが、当第4四半期連結会計期間において固定資産売却益を追加で57百万円計上いたしました。

これにより、平成26年11月期の連結決算（平成25年12月1日～平成26年11月30日）における固定資産売却益の累計額は96百万円となりました。

4. 特別損失（減損損失）の計上について

平成26年11月期第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき、保有する固定資産の減損処理を行い、79百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

5. 業績予想値との差異について

(1) 平成26年11月期通期連結業績予想値と実績値の差異

（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想値（A）	17,000	250	200	100	5.83
実績値（B）	16,235	288	205	133	7.81
増減額（B－A）	△764	38	5	33	
増減率（％）	△4.5	15.5	2.9	34	
（ご参考）前期実績 （平成25年11月期）	16,591	309	547	75	4.11

(2) 平成26年11月期通期個別業績予想値と実績値の差異

（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想値（A）	11,000	200	150	100	5.83
実績値（B）	9,652	47	56	59	3.47
増減額（B－A）	△1,347	△152	△93	△40	
増減率（％）	△12.3	△76.4	△62.6	△40.6	
（ご参考）前期実績 （平成25年11月期）	10,782	236	206	129	7.06

(3) 差異が生じた理由

(連結)

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも概ね予想どおりとなりました。

(個別)

売上高については、3Dプリンタ関連機械・機器および消耗品の販売が好調に推移いたしましたが、主力の大型機械の販売が円安の影響等により苦戦した結果、予想を下回りました。

損益については、コスト削減等を推進いたしましたが、売上の減少や円安の影響によるコスト増加を吸収するには至らず、営業利益、経常利益、当期純利益ともそれぞれ通期業績予想を下回りました。

以 上